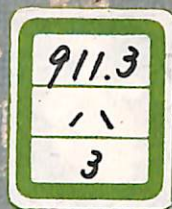


俳諧歌雙兒百首

三





更衣

郊外

葵

郭公

葛葉

早苗

照射

五月雨

蘆花

然虫

寺

故郷

滝

原

湖

池

石

温泉

星

雲

俳諧歌雙見百首三之卷

撰者 四方歌垣真顔

更衣

波那細

こゝろも又春のかゝるはあつて春の中へ春を春人の真門

東微如花三

空寐 今月ありハ月影を袖に袖風をよめりて春を春人の真門

真亀 春を春人の真門を春を春人の真門を春人の真門

真歌 春を春人の真門を春を春人の真門を春人の真門

真和 春を春人の真門を春を春人の真門を春人の真門

真文 春を春人の真門を春を春人の真門を春人の真門

真鶴 春を春人の真門を春を春人の真門を春人の真門

真富貴 春を春人の真門を春を春人の真門を春人の真門

真雲 春を春人の真門を春を春人の真門を春人の真門

鳴海 春を春人の真門を春を春人の真門を春人の真門

真似子 關垣
 春則 入
 秀雄 松代
 美酒 全
 金家 諏方
 巢垣 全
 英月 富津
 元 庄内
 川 北方
 雪 秋田
 人 岡部
 春男 全
 柴 鳥

真患美 京
 翠 八幡
 梧風 水戸
 復春 水戸
 真葛 水戸
 入船 入
 關垣 諏方
 鷹 諏方
 道守 庄内
 真牛 庄内
 薄墨 秋田
 雪人 秋田
 真似子 野辺
 成 野辺

市川真垣
 長岡花人
 全春住
 雨宮春
 青石連
 真梅丸
 麻生全
 桑折作
 見好
 松代男
 大田原
 大坂景
 金糖山
 真高剛
 真石根
 花人垣
 春住人
 雨宮春
 青石連
 真梅丸
 麻生全
 桑折作
 見好
 松代男
 大田原
 大坂景
 金糖山
 真高剛
 真石根

花人垣
 春住人
 雨宮春
 青石連
 真梅丸
 麻生全
 桑折作
 見好
 松代男
 大田原
 大坂景
 金糖山
 真高剛
 真石根
 花人垣
 春住人
 雨宮春
 青石連
 真梅丸
 麻生全
 桑折作
 見好
 松代男
 大田原
 大坂景
 金糖山
 真高剛
 真石根

今井
岩城見
真酒
窮積

豐秋

永薄
則墨

全卷具

真酒躬

暖丸

水哉

真住

松代金文
千稅

真剛

喜樂

千代丸

奇
守

蟄記

春樹

真倉

直古

元照

井樽
人

三府
幸

八九十
同

常川相
道

美古屋

大道

大坂 不美人
 新庄 清也
 庄内 外根
 白川 根
 岐阜 山人
 伊戸 塘
 直根
 常恒
 下館 棟成
 印西 群住
 南新保 雪雄
 駿府 直蔭
 信濃 房人
 月友
 月友

双三五

信神代 歌名
 更科 真琴
 若山 古琴
 麻生 歌志久
 半田 真富貴
 桑折 真鶴
 新庄 真柴
 新庄 真柴
 仙臺 泉
 唐丸
 諏方 真剛
 全 真玉
 富津 真石
 年子
 廣庭

白波とわつれつゝん運をくちあされてある卯月の夜
 春二本坊 俊
 ちあせつわづるがやとさけはるすくやをきん
 藤里 三千春
 月あふちとていぢちあちあやう白とまぐみ卯月
 八丁目 春 則人
 卯月の夜ちやうのまゝめは鶴あゝゝゝゝのち
 上徳川谷 住
 卯月の月あちく形庵あゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
 十住 能 安
 ちああゝ卯月の夜あゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
 庄内 訓 文 雄
 卯月の夜あゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
 全 二 葉
 白波とわつれつゝん運をくちあされてある卯月の夜
 勢川 俊 藤 九 丸
 えゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
 藤 真 長
 えゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

卯月の夜あゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
 川 又 丸
 卯月の夜あゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
 岐阜 駄山人
 卯月の夜あゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
 吉田 元 照
 卯月の夜あゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
 新庄 為 長
 卯月の夜あゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
 今井 見 積
 卯月の夜あゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
 稻荷山 行 宣
 卯月の夜あゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
 大道
 卯月の夜あゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
 盛岡 真 影
 卯月の夜あゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
 信越 實 衆
 卯月の夜あゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
 鳥取 湖 来
 卯月の夜あゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
 真 静
 卯月の夜あゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
 鳴 音
 卯月の夜あゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
 三井 若 水

越河

市川

大

真

真

真

真

真

真

真

真

真

真

真

真

真

真

真

真

真

真

真

真

真

真

真

真

真

真

真

真

真

藤子とていふ事ひくけりけり物り車

同別を葵とけり車とあれと種とけり都人

今井 真 長

今井 真 竹

今井 真 守

今井 真 直

今井 真 和

今井 真 成

今井 真 近

今井 真 龜

今井 真 道

今井 真 歌

今井 真 音

今井 真 顔

今井 真 美

今井 真 全

今井 真 成

今井 真 雄

今井 真 根

今井 真 國

今井 真 材

今井 真 常

今井 真 直

今井 真 馬

今井 真 牛

今井 真 丸

今井 真 丸

今井 真 丸

今井 真 丸

今井 真 丸

今井 真 丸

時を起る事とてけしと考も浅き言はれども
 研鑽の目もさあうと時を拂申やあのうもさあ
 このわくの信更の里井時をきくバてけしとひひひ
 てけしとけしとけしと時をむもさああの時ややん
 我もいふびいあう世をさきとて来あぬ退るもさ
 けびく多き法び一時を懐きへくそで始りうるこ
 かりきの子はあまもむかぬ代を旅をさあぬ今のそりた
 ぬが親の世の功徳の時を天よいさく今のつこさ
 葵まうけしと時つぐさのさわれどるぬ時を
 うるそと教さし世をさるれ小部さあなり初部いふ
 時を月をさうびとけし更の體と重なるそあけじ
 きく多小けさあびん時をいつた初めのもち一のきバ
 ぶねいもさあもせび時をあつぬ目とバといそさあ
 かさそさうとくきいさあ人さあ訓ぬ時をうや

全 松本 全 謙方 子 真 千 仙臺 松代 全 全 全 柔新 全
 松 見 清 量 子 真 千 千 清 山 金 真 粒
 成 雀 水 量 剛 條 稅 音 文 益 雀 成

耳うとたきと人の家へどとき初きをよりつたき
 せとてくあてとや吃つたき月よ地れてやうの路
 と月又かゝあせんとくうか橋きと新ふまてども
 箱根の二つとくお橋より作き地へ鳴くやつたき
 新根もまたバあふ浮きとてあれたう地つたき
 まこれより幸とくあゝ初きのそれ初きをきけ
 曉の路をつくとあつたきあゝとてあゝとてあゝ
 時きつたきあゝとてあゝとてあゝとてあゝ
 時きとあゝとてあゝとてあゝとてあゝとてあゝ
 月のをきききききききききききききききき
 ときききききききききききききききき
 横きききききききききききききききき
 ときききききききききききききききき

畠津 真蔭
 全 千代丸
 藤原 里人
 津 菊俊
 全 飯時
 宮崎 十字街
 出羽宮内 本
 高柳 月守
 山形 菊路
 全 松年
 佐原 岡住
 全 八重垣
 宇都宮 岸住
 為持

真龜 友成 善直 開垣 田豆 生歌 城暖 丸久 人垣

皮那田嬰女西一受

諷方 仙臺 金家 瑟賀 真似子 水哉 真種 龜成 野辺

刈谷 吞安
 仙臺 二葉
 柔折 真武
 大坂 不美人
 子住 春則
 全街 熊雄
 甲府 蘇覺
 青梅 喜代住
 下総 山近
 河島

事をいふなり世の法をいふなりといふ草花

時よりも管が形勢はれなりといふ草花

川の水もも難波入のそむ見方の見知なりといふ草花

美作とては草花をいふなりといふ草花

いふ形なりといふ草花をいふなりといふ草花

破るといふ形なりといふ草花をいふなりといふ草花

お女子のなりといふ草花をいふなりといふ草花

草花をいふなりといふ草花をいふなりといふ草花

良きなりといふ草花をいふなりといふ草花

神宮十柄の草花をいふなりといふ草花

握りたる草花をいふなりといふ草花

いふ草花をいふなりといふ草花

草花のなりといふ草花をいふなりといふ草花

大田原

諫方

氣仙沼

小町

福島

最上

市川

小見川

一閑

全

駿府

新庄

甲府

小町

文

量

貢

讓

三千

春

秋

真河

浦住

逸覧

親覧

直古

水

琴

御よしの田を耕ぐといふ事あるを粟のまゝにひつ
 市川八十九
 成
 伊三
 石出
 盛岡
 藤金
 藤蔵
 片倉
 天神
 川名
 草如
 市住
 琴足
 光貞
 新馬
 吹

三十二

うるの田の中へ延てふ所の事、播への事を、植へる事、
 秋より春へおこし、冬に種をまき、春に苗をとり、
 田の中へまき、種をまき、苗をとり、
 秋の女へおこし、種をまき、苗をとり、
 秋の女へおこし、種をまき、苗をとり、

照射

波耶細

半田 貴丸
 四
 名古屋 義
 真鎮
 岐阜 人
 印西 風
 百合丸
 黒人
 長岡 貢

岩城 真酒 賜
 最上 豐秋
 水戸 真鏡
 庄内 柿人
 新庄 元季
 名古屋 美淵
 空寐
 常恒
 印西 百合丸
 長岡 吹成
 全 起人
 土呂 米也
 戸塚 嘉年子
 双三十二

左内 真牛
 全 二葉
 岐阜 真美
 全 真波
 甲府 久丸
 水戸 自多樂庵
 小町 琴富貴
 名古屋 真歌
 山形 千積
 全 早丸
 草加 肌義

五月雨

木下 さふえのめでたれは、おれたくつぎとてうねり
三花 のよきあわれにあさる池の中へありありなり

咲ぬのちをうまうの僕のを親の君をえんをいふ
 裏微如花ニ 咲くをえんをいふをいふをいふをいふ

あるは月を結ぶ、今も雲を似せ、雲を夜を、月をのり

五月は空の白く晴る五月のそれる夏の秋の
萩の地を秋の萩ともあわれむる人のうとむる

[illegible]

五月三日の長家の海をうけ^て送^る人ゆく^る多^くあり^し中^に
 とう者のふふあひ^てと^き酒^を飲^みた^るを^のそえ^し五月三日の

爲るをへぐ小部とく高きぬ志ありまじし
 相と解く相とせむとて之をわめぬるを
 主徴

五月五日の夜あけくさしきまほしの夜
三

信 據

室 要
 月 女 の 身 の 却 と 不 葬 せ ら れ ば ぞ く わ げ る 依 井 の 毎 日

[illegible][illegible]

市

佐
 内
 庄

小田

廣 植

甲府 二水
 市 大川
 大彦路
 山近
 杏見
 由喜丸
 吾妻
 花什
 四
 犬山
 栗法師
 早丸
 草加
 内匠
 梧風
 大道
 市住
 真國
 双三二十五

千住 街
 馬生 駒彦

廬橘

東徹加三

最上 央
 真似子

入船
 岡部 柴
 仙臺 綴
 諏方 根
 庄内 外也
 照道
 常恒
 空寐
 美豆保

裏徹

千住 美豆保
 常恒
 照道
 外也
 庄内 根
 諏方 綴
 仙臺 柴
 岡部 入船

名古屋 真鎮
 桑折 真武
 春米 丸
 最上 繁留
 駿府 花路
 長岡 入
 岩城 丸
 桑城 丸
 津御 空
 庄内 出羽住
 全 吾丸
 新庄 壽
 石出 盛
 牧市 人
 天神 鳥
 山形 真青
 真葛

新庄 壽
 石出 盛
 牧市 人
 天神 鳥
 山形 真青
 真葛

螢

破那細

裏微如左

真葛
 真武
 丸
 繁留
 花路
 入
 空
 出羽住
 吾丸
 壽
 盛
 人
 鳥
 真青
 真葛

駿府 馬
 桑折 文
 長岡 千
 岩城 千
 津御 千
 庄内 千
 全 千
 新庄 千
 石出 千
 牧市 千
 天神 千
 山形 千
 山形 千
 山形 千

双三十八

[illegible]

全 爲 成
 白 川 雀
 岐 山 人
 全 眞 美
 青 芳 文
 吉 照 道
 仙 眞 根 人
 名 香 久 美
 篠 蔵 人
 岐 昇 野
 竹 節 成
 繁 眞 根
 夜 眞 根

三十九

八 幡 里 也
 山 熊 取
 春 俊
 空 寐
 凌 臣
 市 住
 眞 國
 良 村

寺

裏 微 如 花 三
 岩 城 眞 酒 躬
 市 常 道
 大 梅 好
 磯 名
 長 春 住

藏
月
彥

方求
真玉次

二本坊

甲府家
住

全
繁
留

美名古屋洲

市住

真種

鷺丸

桐正

島人
名古屋
真原

三十三

岩城
真酒躬

仙臺全

大坂島道

全
春梅
討好

時家春

真句

子塚
龜

馬 牛

常音

真鄉

空寐

真種

及三三十一

名古屋
真辰

[illegible]

双三十一

東鑑如花三
蓮なりし松も翫と盤するごとくあれまらん猶あるの池
底志直ぬはのちてふ月の徒らきもそれざるか
裏敷
産海のはるへせりありゆんをわたりふたねあ秋の月
臨つゝさへ底ふるえあすうきの川もや池よりまじ
方かふ地の方やすけいのちあさうの池のふも
いづれほろあつらん底ふるえあす清福の池
廣き柳の骨やゆらん浅のばおれまつて
目録
ひの産よりえあさうのちあさうの池のふあつて
むげあさの池あつてうみあつて水のそまへり
ものれえさへあさうとじろむく松が枝より浅福の池
盤もさへあさうとじろむく松が枝より浅福の池
あさのちり毛もさうとじろむく松が枝より浅福の池
あさびと底より松の枝もあさうの池と浅福の池
あさの事あらはあさうの池と浅福の池

十位 姓 九色 廣遊 久住 人
庄内 市川二垣 氣仙沼 磯辺 左原 長岡 全貢 庄内 會津 貫戸丸 真直 照道 音壽

秋田路、くろく桂、くろく二、あつち、まき、わさる、えん、い、り、の、ふ、
真 龜

裏微如花三

裏微如花二

裏鐵

真門

良材

大馬路

美都井

粉津

鳥首

高登

真電

真種

臭柴

豆成

双三十五

磯
年
久

年子

山形街

佐原松年

庄
二内
葉 五

登

照道

子
龜

真猿

真 眞
也 亞

真重

文雄

石

真龜

柔所
御
空

市川
常道

嘉年子

二
薄墨

真村

真河

庄內
莫
牛

全

吾

春彦

美鳥

全

伊戶

卷八

11

卷

南

貝種

化守

古

支

八

一

住

酒躬

哉

富貴

6

風

八

丸

弓ハ袋をさしきりて矢をいれぬびき根をさすなり
 往きのまじり地使よりい人の死をばけくあせぞと
 碑をさく碑あり一とよりやまのあはれと云ふ
 挽白ふりてこれに人のかうつ時ふとより
 常もせびあつたふびりまをぬき矢の筋のふ
 る和川流ハ流し流しと云ふは流しぬ特國をうか
 法鏡のあひをさして大橋を度とみるのあをけし
 玉川のふハ流のせと一とよりまのまをさすなり
 龍馬の腹の腹中ふハ流し流しと云ふは流しぬ
 流のまをさすなりけり矢のあひをさすなり
 さめくの矢ハあれどり流し流しと云ふは流しぬ
 龍馬の腹の腹中ふハ流し流しと云ふは流しぬ
 世あれはるまふなりけり矢のあひをさすなり
 龍馬の腹の腹中ふハ流し流しと云ふは流しぬ
 龍馬の腹の腹中ふハ流し流しと云ふは流しぬ

柔折 金文
 吉田道守
 新庄 恒雄
 全 繁樹
 甲府 壽
 岡部 泉
 片倉 成
 名古屋 川 真和
 名古屋 酒醒
 十住 空寐
 美豆保
 真種
 後臣
 鷺丸

温泉

裏微加三

玉横首さおの湯ふ二つこれが病のなすなり

岩城 真酒躬

伊豫の湯の湯杉の敷のあひをさすなり

桑折 金文

裏微加三

杉盛

佐原 杉盛

伊豫の湯の湯ふさすなり

名古屋 真電

伊豫の湯の湯ふさすなり

名古屋 鬼影

伊豫の湯の湯ふさすなり

名古屋 真酒躬

伊豫の湯の湯ふさすなり

名古屋 暖丸

伊豫の湯の湯ふさすなり

名古屋 見雀

伊豫の湯の湯ふさすなり

名古屋 飯時

伊豫の湯の湯ふさすなり

名古屋 鳳管

伊豫の湯の湯ふさすなり

名古屋 山形

伊豫の湯の湯ふさすなり

名古屋 松年

伊豫の湯の湯ふさすなり

名古屋 真史

伊豫の湯の湯ふさすなり

名古屋 新庄 壽

仙臺
真根人
片倉
常

午佳全

街

真方花

のちであるといふ所が、いふべき是の事ふれども

戶塚真衣

真

とめて第々人あめ伏共あへるあひ知あふんぎあへるあ友

真似

花

吹

米

春

肉法

出

10

春

貴田

弘屋

大川
86

長

數
成

蓮

歌志久

つてを却ふおのれをいふうゝ

市往

風吹雪引之て雪の林の葉を落し

長岡

星の老に

孫子塚
龜

女との事、之を北の方あり

新庄
真柴

真

新笑濱
新道色
新直商
新二外
新朱為
新真唐
新賴方
新人近
新規音
新古人
新葉也
新人持
新雀琴
新方子

印西 群住 米次 真富貴 人 安 賀 道 馬 家 輔 男 古 成 和

月をさへ影をさへいかにかきつゝさのけりてあまたなりと
 ちのちをさへいかにかきつゝさのけりてあまたなりと
 月をさへいかにかきつゝさのけりてあまたなりと
 ちのちをさへいかにかきつゝさのけりてあまたなりと
 月をさへいかにかきつゝさのけりてあまたなりと
 ちのちをさへいかにかきつゝさのけりてあまたなりと
 月をさへいかにかきつゝさのけりてあまたなりと
 ちのちをさへいかにかきつゝさのけりてあまたなりと

琴 真 空 千 晴 本 真
 彦 顯 寐 金 俊 輝 顔



俳諧歌雙児百首三之巻終

